

情報公開文書

【研究課題名】

パーキンソン病におけるベッドサイド嚥下機能検査および質問紙法による
誤嚥性肺炎発症予測に関する研究

1. 研究の目的

パーキンソン病における嚥下障害は、その死亡原因の約半数を占める誤嚥性肺炎を引き起こす重要な症候であり、それに対する治療を確立することは臨床上重要な課題です。ベッドサイド嚥下機能検査、嚥下障害に関する質問紙法、および嚥下造影検査を実施したパーキンソン病患者を後方視的に検討し、その後の誤嚥性肺炎発症との関連を検討することで、いずれの方法が最も誤嚥性肺炎発症予測に有用であるか明らかにすることを、本研究の目的とします。

2. 研究の方法

●対象となる患者さん

パーキンソン病の患者さんで、2016年9月～2019年9月に当院で嚥下造影検査を受けられた方

●研究期間

2020年7月宇多野病院生命倫理委員会承認後から2024年3月31日

●研究に用いる検体・診療情報の種類

診療情報：年齢、性別、罹病期間、PD重症度、誤嚥性肺炎の既往の有無、摂食嚥下障害の臨床的重症度分類(DSS)、摂食嚥下障害スクリーニング質問紙票(EAT-10)、VF検査時の誤嚥の有無、等。

3. 検体・診療情報の管理

診療情報は、当院のみで利用します。

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

宇多野病院倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名、住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたいえで取り扱っております。

4. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都市右京区鳴滝音戸山町8

独立行政法人国立病院機構 宇多野病院 電話番号(代表)075-461-5121

研究責任者：リハビリテーション科 荻野 智雄